JR連合への総結集と 労使の信頼関係構築へ全力をあけ 職場からの安全確立 政策課題の解決・前進を図ろう

3 回 定 期 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)

3

日本鉄道労働組

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849 乗兵と709階 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849 1部20円 (但し組合費に含む) ●発行者/荻山市朗 ●編集者/宮野勇馬

る現状に触れ、「JR産業

き厳しい状況に置かれてい

を持続的に成長させ、すべ

ての働く仲間の幸せと地位

朗会長は、コロナ禍を克服

策、労働政策、

組織の強化・拡大、産業政

新飯田武執行委員

加盟証書とJR

山下聡執行委員長、 ン開発労働組合の JR四国ステーショ

冒頭挨拶に立った荻山市

しつつもJR産業は引き続

5点に亘って課題認識や取

連合バッチを贈呈

り組みに係る決意を述べた。

した。

その後、執行部から一般

JR連合

JR連合は6月12日~13日にかけ、都内にて第33回定期大会を開催した。会場

2

案を提起した。 2023年度予算

第3号議案の

# 【第33回定期大会】

JR連合への総結集と すべてのJR会社との労使の信頼関係構築へ

大 会

動の見える化を図り、全力をあげる。 組織拡大の重要性を認識のうえ、運 組織の数は力の源泉。あらためて

含め、安全面で問題はないか妥協な

くチェック機能を果たすことが重要

界を代表し、清水秀行連合 議員をはじめとする国会議 **果海ユニオン)、寶田晃代** 協議長、榛葉賀津也参議院 **乓)の開会挨拶で幕を開け、** 新庫こくみん共済coop 生労働省労使関係担当 道事業課長、喜瀬真太郎 交通法の成立に尽力した 懇談会所属議員、改正地 拶を行った。来賓には各 [より大会スローガン案が 議事が進められた。議長 員(JR四国労組)を選出し 委員を選出するなど新体制を確立した。 には代議員・特別代議員・傍聴者など約230人が参集。真摯な討議を経て、 口芳郎国土交通省鉄道 務局長、住野敏彦交運労 起された後、来賓各位が 団に榎硲文野代議員(JR 会成立宣言の後、大会議 大会は、大杉正美副会長 会場全体の盛大な拍手で歓迎の意を表した。そして、 今大会では、新たに加盟した「JR四国ステーション開発労働組合」を紹介し 2024~2028) 」の骨子案を示した。また、

と強く訴え、安全の確立、 信頼関係構築』が不可欠」 べてのJR会社との労使の R連合への総結集』と の向上を果たすには、

2年度一般会計剰余金処分

として2023年度運動方

れた。その後、第1号議案 より会計監査結果が報告さ 算報告に続き、会計監査員 経過報告、2022年度決

8) 」について、策定PT

ジョン (2024~202

一新中期労働政策ビ

ち、鎗光俊勝労働政策局長

大会2日目の再開に先立

針案、第2号議案の202

ビジョンの骨子案を示した。

質疑では、11人の代議員・

における取り組み経過と新

急速な社会の変化に対応し、すべて 労使の信頼関係構築」が不可欠。J 総結集」と「すべてのJR会社との の働く仲間の幸せと地位の向上を果 たしていくためには「JR連合への M』となった連携・協働」を訴えた。 R各社および労使が『ONE TEA 転換期にある。昨年10月に開催した 況に置かれ、国鉄改革に並ぶ大きな から8・5兆円まで拡大するなど、 ナ禍前の約9割まで回復してきた。 R産業は経営体力の面で厳しい状 方、JR7社の長期債務は6兆円 皆さんの努力で鉄道の利用もコロ R連合結成30周年記念行事で「J

R7社の連携強化も強く訴える。 ◇最優先課題である安全の確立 福知山線列車事故以降、現在も事 マル派との 組合」に対 しても「革

では、労働力不足の影響が深刻化し 日、JR各社、とくにグループ会社 間でJR社員1人、協力会社社員3 故や危険事象が相次いでいる。1年 ている。効率化を求める会社施策を 人が労災事故で尊い命を失った。今 警鐘を鳴らし、問題解決のためにも 引き続き革マル派の危険性について 関係につい て解明に努めている」旨答弁した。 JR連合への総結集を訴える。 来月に迫った交運共済からこくみ

の皆さんに多大なるご苦労をお掛け 各単組、各級機関の役職員、組合員 ◇産業政策の取り組み し、心より御礼と感謝を申し上げる。 ん共済coopへの契約移転については 昨年2月に発表した「持続可能な

地域公共交通をつくるJR連合政策

を実現すべく積極的に取り組む。

必要性を訴えることが求められる。

て力強く行動していくことを訴える。

関する政策提言」を発表した。提 緑ネットワークの構築と計画推進に 合と共同策定した「高速鉄道・新幹

との間で将来のために向き合える信 頼関係の構築に全力をあげる。また、 とりわけJR東日本・北海道・貨物 合・加盟単組がすべてのJR会社、 続的に成長していくために、JR連 な労働組合の再構築を求める。 JR東日本における責任ある民主的 社会変化に対応してJR産業が持

あらためて訴える。 5月22日の参 議院決算委員会で谷国家公安委員長が JR東労組から脱退した組合員に JR産業からの革マル派の追放も

会長挨拶

された労働 よって結成

働く仲間の地位向上を果たすために リR産業を持続的に成長でも

会長 荻山 市朗

業の長期安定雇用を主張するだけで 実に継続することがきわめて重要。 成果を収めた。次年度以降も賃上げを着 現した。また、グループ労組でも大きな る手当などの大幅な賃金の改善が実 雇用・労働政策を磨き高め、合理性、 なく、社会変化に対応して私たちの を基調に議論を進めている。JR産 労働政策ビジョン」もその考え方 JR産業の最大の財産は人財であ 本大会で骨子案を示す「新・中

や地方が責任を果たすべきと訴えた。

本年2月には鉄道運輸機構労働組

てる事業領域を確定し、それ以外は国 は、この考えに基づき、経営に責任の持 ワーク』をつくるJR連合政策提言」で 現に向けた「新しい「ヒト・モノ=ネット たJR北海道・四国・貨物の経営自立実 プの重要性が高まっている。昨年発表し

特別代議員から、安全確立、 総括答弁を経て、すべての 答弁、政所大祐事務局長の 言があり、担当役員からの ズな契約移転等に関する発 みん共済coopへのスムー 組織拡大、政策活動・政治 方針、男女平等参画、こく 副会長 副会長 副会長 副会長 副会長 副会長

年を地域公共交通政策「再構築元年」 提言」に基づく精力的な働き掛けも スタートしたところ。JR連合の各 と位置付けたように、政策の転換が が成立した。斉藤国土交通大臣が本 奏功して本年4月に改正地域交通法 地方連合会、地方交運労協 各単組における自治体、地

界が明らかになる中、官民パートナーシッ え、コロナ禍で過度な内部補助の限 人口減少・少子高齢化の変化に加

と連携した取り組みを要請する。

具体化し、交運労協や関係産別とも連携 題に位置付け、実効性ある提言、要等を 貨物鉄道の活用を新年度の最重要課 JR連合は、2024年問題に対応した る2024年問題への対応が求められる。 して、その実現に向けて集中的に取り組む。 〉労働政策の取り組み 物流クライシスとも呼ばれ

能力不足や労務単価の引き上げなど

に直ちに対応することが求められる。

**)**政治活動

各単組は多くの成果を獲得した。ベアの くりと継続的な賃上げの方針を掲げ、 **「採用競争力の強化を意識して、未来づ** 2023春季生活闘争では、離職防止

当、駅や技 給、勤務地 より、初任 実施はもと 術職に関す に関する手

現に有効な議員との連携も図る。 代弁者である議員との連携を基軸に 据えつつ、時に政党を問わず政策実 会議員懇談会・21世紀の鉄道を考え を画して政策実現を主眼におき、国 17人の組織内の仲間が立候補し16人 る議員フォーラムをはじめ私たちの の連携を強化し活動を推進していく。 地域との共生を進めるため、地方議員と が当選した。JRに対する理解を深め、 **万議員団連絡会から新人2人を含め** 政党の方針や政局の動きとは一線 4月の統一地方選挙では、JR連合地

関係の構築」を実現する強い決意を持っ て、JR連合の全組合員が一致団結し 結集」と「すべてのJR会社との労使の信頼 体制の選出もお願いする。「JR連合への総 大会。 JR産業の大転換期に臨む新たな 今回は役員改選が行われる節目の



役員改選では初の女性執行 「新中期労働政策ビジョン

R連合に加盟した

また、新たに丁

加盟証書を手にJR四国ステーション開発労組

俊勝氏が退任し、新たに石 新たな体制で提言の実践 従執行委員として選出。ま 川敏也氏と住吉一家氏を専 労働政策局長を務めた鎗光 局長を務めた森安祐貴氏と

議案を満場一致で可決した。 役員改選では、産業政策

運動をスター 団結がんばろうで新年度の の閉会挨拶後、荻山会長の 執行委員とし R西労組中央執行委員長) た、吉田春菜氏を初の女性 最後に上村

## **荻山会長 政所事務局長を** 再選

初の女性執行委員を選出 弘美 位 執行委員 執行委員 ては、 執行委員 執行委員 執行委員 執行委員 執行委員 JR東海ユニオン・一賢二、川端準 会計監査員につい 宮野 相良 羽 住 吾 春菜 新 敏也 一家 再再新新再再

めの取り組み、男女平等参画の取り組み 収入の確保のほか、建設業における施工 する働き方の改善など離職防止のた る。このほか、バス部門の適正な勤務や なども、各単組と連携して精力的に進め また、喫緊の課題として、若手が敬遠 森安祐貴、鎗光俊勝、鈴木 《退任役員》

で承認、確定する。 直近のJR連合執行委員会



吉田執行委員



トさせた。

住吉執行委員



艮成副会長(丁 て選出した。

石川執行委員

- ズな議事進行で大会を成功に導いた寶田

A・当たり前なことを、

を求めていく。さらには今 業界団体に監査体制の強化

他産別よりも2割賃金が安 確保について。バス産業は

政府の新しい資本主義実

論されている。安全・安定

長期安定雇用を基本とした 輸送を担うという面から、

鎌田隆司代議員【JR東海ユニオン】

バスで進めるABC運動

交運労協を通じ関係箇所や

バスの運転士と整備士の

吉田祥司代議員

【JR九州労組

安全について。引き続き、

B・ばかにせず、C・ちゃ

収入を確保できる仕組みを。

魅力あるバス産業をつく

一の労働移動を促すことが議

Rグループの人員確保に大 就業形態が大宗を占めるJ

も含めた安全指針、重大労

グループ会社や関係会社

の転換を図り、成長産業へ を前提とした雇用慣行から 現会議において、年功序列

大幅な待遇改善を。まずは

く、2割労働時間が長い。

んとする」をJR連合にも

質疑

代議員・特別代議員発言(要旨 極 な討論で運動方針案に肉付け

# 鈴木教仁代議員【貨物鉄産労】

令との間で意見交換会がで きたことに感謝。東京貨物 ターミナルの視察にも感謝。 安全について。東海地協

田口広大代議員

【JR北労組

は2年連続ベア、初任給増

2023春季生活闘争で

を私たち一人ひとりが伝え

を解決しなければならない。

日貨労の革マル派浸透問題 を掲げる2030年に向け、 本部で5人加入。完全民営化 組織について。東海地区

にはアボイダブルコスト改 維持装置、ご理解を。20 定がある。同ルールは生命 どを提起する。2027年 の見直し、荷物の平準化な 年問題については、商慣行 政策について。2024

延伸に伴う青函トンネル共一取り組む。 30年の北海道新幹線札幌 用問題もJR連合とともに

# 斉藤道子代議員 【JR東海ユニオン (青年・女性)

連の異常性を肌で感じた。 織拡大に取り組み、JR総 JR連合の必要性と重要性 R北労組を中心に今年も組 民主化闘争について。J

**健知識をある程度つけて参** 者にレベル差があるため、 事前課題を設けるなど、 ついて。役員研修会の参加 ていかなければならない。 青年・女性委員会活動に

仲間も一緒になり、非常に盛 催。 2泊3日、民主化単組の 加してもらってはどうか。



り上がった。組織拡大に重き 北海道でユースラリーを開





青年・女性委世代を超え



賃金の目減りや施工能力の

をおいて次回の計画を行う。 ても活躍できるよう、基本

の労働時間の上限規制は、 した工事単価契約の適正化 工期の延長に対して発注者 重要。労働力不足を理由に 低下など、課題が山積み。 てないという声も聞く。公 の理解を求める取り組みも 共事業設計労務単価を意識 見張り員を十分に確保でき

組合の女性役員は必要。こ

# れから先も、これまで組織

築するため、現在の問題点 続けたいと思える産業を構 を男女で共に改善するのは 一映されているのか、甚だ疑問。 要求に社員の声が本当に反 労組未加入。社友会が出す



J R連合

違いをアピールしていく。

性が少ないという課題があ

る。人財不足と少子高齢化

育成について、そもそも女

持続的な女性組合役員の

非常に重要。そのためにも、

が進む中で、男性ばかりに

・榎硲両議長

矢田尊弘代議員

【JR西労組

(自動車)]

な労使関係の確立が必要不

るためには、民主的かつ確固

では、今年度4人の加入拡大。

きな影響を与えると危惧し

ている。特に、退職手当の

可欠。JR北労組自動車支部

JR連合としてもオルグを。 この勢いを止めることなく

課税制度が見直し検討対象

安易な雇用流動化について となっており、連合に対し、 加入。今後もJR総連との 1人、自動車支部で2人の

5月に昨年の中途採用者

有し、目標達成に向け取り 組を含めた加盟全単組で共 レットを作成。グループ労 参画推進行動目標のリーフ

間と交流できてよかった」

ユーチューブでのアピール

ユースラリーが北海道開

J R 連合第4次男女平等

選ばれる企業・産業では、

男女が共に働きたい、働き いつか人財に限界が来る。

参加者から「全国の仲

て、チラシ、各種SNS、 の声かけや、新採対策とし

吉田春菜代議員【JR九州労組(男女平等参画)

不満を持つ北鉄労組合員へ

組織拡大が喫緊の課題。

は、離職防止提言を策定し

会社と議論してきた。

なる改善に向け取り組む。

4春季生活闘争では、さら

額など勝ち取った。202

年に発生した羽越線脱線事 全への誓いを新たにしてい 故の慰霊碑を毎年訪れ、安

# を牽引してきた先輩方に恥

# 一じない運動を進めていく。

齋藤勝彦代議員【JREユニオン】

# 仙台地本では、2005

JR東日本は、約8割が

# 河村芳弘特別代議員 [JR西日本連合(グループ)]

続き他産業と比較して厳し ついて。JR産業は、引き 2023春季生活闘争に

|継続的に賃上げが可能とな 使で強い危機感を共有し、 い状況にあり、今後も各労

している。 入の若い仲間も一緒に参加 津波で倒されたクロマツの る。また、東日本大震災の ている。いずれも組合未加 林ボランティアにも参加し 再生をする、オイスカ海岸 会社から提案される様々

性・必要性を会社に伝えて 協議がとても重要。民主的 育成、技術継承など、労使 は、安全を最優先に、人財 で真っ当な労働組合の重要 な施策を成功させるために

後任探しに苦労していると 各組織においては役員の

## 組織づくりに携わりたい。 総がかりの取り組みを。 が納得のできる方針確立と 春季生活闘争も、 る環境の構築を。2024 組織とともに求心力のある

# 石川敏也代議員【JR四国労組

3

定

日本鉄道労働組合連合会(JR連合)

JR連合

日本鉃道労働組合連合会

期

023」を策定、人財確保 提言一ユニオンビジョン2 R四国労組では、労働政策 の必要性をあらためて会社 員不足も看過できない。 J 離職は安全を脅かす。要

体で安全意識を共有できる 産別としても、労働者全

組が誕生。役員がやりがい リをつける必要がある。 活動できるよう支援を。 や達成感を持ち、持続的に 聞く。取り組むべき課題は た。引き続き支援を。 成り手不足を招く。メリ 様々あるが、過度な負担は も4県知事の考えが一致し 四国新幹線の整備ルート 4月に新たなグループ労

要請していただきたい。 組織内議員の活躍

れた。また、全職場総対話 行動についても、すべて対 起因する様々な実態につい 統の課題とし け、寄り添い、

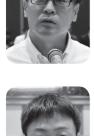
は慎重に検討するよう強く一づくりに引き続き取り組む。 ない。次世代の組織内議員 に繋がったケースは少なく によって地方路線の活性化 が寄せられている。工務系組からも多くの意見や要望 し、不安を解消すべく、責任 面で集会を開催。多様化す ある取り組みを実践していく。 る組合員のニーズに耳を傾 医療従事者やグループ労 て労務賃金に 思いを共有

得の流れをつくることが 日本連合32単組のベア獲 回答を引き出し、JR西 の満額ベア3000円の について。結成後初めて などが盛り込まれた。 理的に安全なチームづくり」 2023春季生活闘争

ローカル線がある。地方 各地域・エリアにおいて 域との対話を大切にし、 議員団と連携を図り、地 JR西日本には多くの

## 災防止の行動指針と器材の 事を開催、約2300人も 道半ば。より実効性のある 浸透については依然として の組合員と家族の笑顔に触 取り組みを。 5月に結成30周年記念行







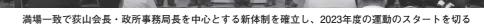




# 福本英治代議員【JR西労組】

には、JR西労組から提言 鉄道安全考動計画2027」 れた「JR西日本グループ 2023年4月に策定さ 久しぶり、 ですが)」の した「アサー 変更管理・

ても、引き続きの対応を。 さらなる浸透、 (更)」、 ション(確認 JH(初めて、 心 ていく。 持続可能な交通体系の構 できた。 築に向けて、 連携を深め



・各種制度・運用では多くの課題

あったのも事実ゆえ、

、今後の有

働く者の声に耳を傾け、組織強

する。これまで扱ってきた様々な政

化・拡大に向けてあらゆる取り

に初動から教訓を活かせるよう、

寄り

具

体的な政策をとりまとめ、

革マル派浸

意義があった。

は、

仲間の不安や迷いに徹底して 添い共に動くことであり、

ラル等の新たな課題についても、

やるべきこと

や交運労協議との連携により多く くことで効果的であったし、連合

成果を得た。一方、政府の政策

や性差等あらゆる違いがある中、 離職の増加も加速している。年齢

> 開する。地域における理解促進や政 政策の実現に向けた取り組みを展

相互理解が極めて大事であるし、

◆コロナ禍対応について る30年、を創る歩みを進めていこう。 な取り組みが大切。 そうして 〝次な ことを考え実行していくという着実

> ループ労組連絡会と連携して動く。 通の課題であり、エリア連合やグ う。グループ会社や協力会社でも共

や交運労協、会社、

政治行政等の関係

種の政策提言を活用しつつ、連合 行う必要がある。2023年度は各

中期的な課題。

多の

治を取り戻さねばならない。

く者目線での緊張感ある政

健全な野党勢力による働

宮野企画局長

◆組織強化・拡大の取り組みにつ

主体やマスコミ等との間で情報

策定に取り組む。

交換や課題認識の共有化を行い、

組織人員の減少傾向は変わらず

3産別共同行動は塊となって動

いて

## 令和5年(2023)7月1日

かし運動

**第光労働政策局長** 安全・グループ担当) 議員の 声を活

全意識の醸成という観点か 境を把握できたことは、安 実際に現地で就労実態・環 ターミナル駅を視察し 女全対策委員会で東京貨 画期的な取り組みだっ 組合員の声に基づき、

加え、

単組でも広げられるよう取 たい。 について。これまでは安全 確認会話の取り組みを加盟 BC運動やアサーション・ 建設業の2024年問題 現在行わり れているA

ンにJR連合もしっかりと

各エリア連合で実

**台主催の安全ディスカッショ** 

森安産業政策局長 教育局部長・自動車連絡会担当)

年以来24年ぶり。グループ

有し取り組みを展開してい

がしっかりと課題意識を共 賃金向上に向けて、各労使 にすることなく、継続的な この賃上げの成果を一過性

安全意識の醸成を図り 内部でも情報を共有 を保守する旅客会社の課題 ブルコストルールなどは線路 でいるが、一方でアボイダ の経営自立に向け取り組ん となっている。両方の立場、

り組みは継続したい。 た。今後も、三現主義の取

安全について。

エリア連

のうえ、 確立の視点で議論を重ねて きたが、産業政策とも連携 労働政策で議論し 伴い並行在来線となる函館 本線の一部では存廃が議論 していくことが肝要である。 考えをくみとり、

海道新幹線札幌延伸に

から知見を求めることに

組

強 化

拡

組織と運

動の見える化も推進

た具体的な取り組みを展開 移動の円滑化に関する連合 抽出のうえ、エリア連合と の分科会でも議論し、課題 労働政策について。

を鳴らしてきた。 を獲得したのは、 連合の各種委員会や担当者 2023春季生活闘争に いて。JR7単組でベア

への働きかけについては、

労組まで賃上げの効果・勢

いをしっかりと波及できた

季生活闘争でも喫緊の課題

くことが重要。2024春

警鐘

ことは大きな成果である。

力の強化を志向し、人財の

である離職防止や採用競争

使で真摯な協議を積み重ね 確保や定着に向けて、各労

JR貨物は2030年度

| 2024年問題を契機に役 性が低いとの指摘があるが、 論する必要がある。貨物鉄 流を支える線区でもある。 道は災害に弱く輸送の信頼 わが国の物流の観点から議 されているが、 北海道の物

国とも連携

員研修会については、 物をはじめ国とも議論して 割を果たせるよう、JR貨 教育について。

労使協議だけでは及ばない 足については、処遇改善など 議論していく。 担当者会議などでしっかり 自動車関係。 整備士の不

請などの取り組みで、JR連 ところもある。自動車局要

合の政策力を発信していく。

青・女役

外との連携を深め対応していく。

◆労働政策について

論が進められていくが、

ネットワークについては、 共通の課題を有する鉄道運 (鉄構労) と

行動の成果が得られた。 において最前線で働く組合 員の現場の声をタイムリー りになったのは、コロナ禍 3産別共同

ちの提言や主張が反映され 地域交通法の改正では私た 組の皆様とも連携を図りな が進められていくが、単。今後、地域において議

四国新幹線を含む新幹線

らも、私たちの政策提言に賛

して捉えている。労務賃金

連携ができ

連携して政策提言を発信し

新幹線建設に携

同いただいた。本当に心強い。

建設業の2024年問題

ないか模索している。

がら取り組みたい。

に集約していただいたこと。 地域公共交通について。

相良組織局長

透問題は、あらためてしっか

温度感を上げるためにも職

場の情報等を教えて欲しい。

員となり、

りと伝えていかねばならな

なことは「継続」であり、 訂の取り組みを進めていく。 た。今後も中長期的な視点から くの前進と成果を獲得してくれ え、丁寧に討議し次期春闘方針 止・採用競争力強化の取り組みは わしい労働条件・環境を見つめ JR産業で働く者にとってふさ 中期労働政策ビジョン」 組合員の負託に応える多 を掲げた。各労使は対話 改 面を中心に私たちの運動は 方に参画して貰うことだ。政策 動をしつかりとPRし、 続く。そこで、あらためて大 なおJR総連への加入者は 活動は必須だが、それでも いないので、これを伝える JR総連の本質は変わって 連合への結集を訴えてきた。 連合が正という構図でJR 事だと感じるのは、私たちの活

の認識が薄れている。この

近大人しくしている面があ

政治の世界でも危険性

ションは大事にしたい。

組

合員の価値観は相当多様化

しながら、

ためにも、対面コミュニケー

丁寧な情報のやり取りの

かく多い時代・社会。こういう時こ

須。効率化施策や省人化・省力化、

◆産業政策と政治活動について 話を重ね、横串・連帯を強化する。 つ、単組とも様々な情報を共有し対

ではなく労使双方の取り組みが必

をよく見るということ。労働組合だけ

 **不確実性が大きく「変数」がとに** 

政所事務局長

組の取り組みの水平展開、

役立つ情報

全性への着目など、先進的・効果的な単

化を行っていく。安全は職場から創

取り組みの深度

とに集い、業界の特情、課題を抽出

を重ね、

な賃上げ」

う。グループ労組活動では分科会ご

解していただくよう情報発信を行 革マル派浸透問題等を世の中に理

く意識し、「未来づくり」と「継続的

「離職防止と採用競争力強化」を強

労働運動、が大事。また、私たちの 通しの良い、自由にして民主的な

り上げるものであり、

大事なことは「人」

る。すべての取り組みを連動させつ

し、解決に向けた取り組みに繋げ

そ地に足をつけ、

職場の現実に向き

現状と課題を把握し、できる

らゆる層でチェック機能を果たそ

た、さらには先見性を持った対応を

様々な「変化」に対し、時宜を得

組織改正等も急ピッチで進むが、あ

を内外へわかりやすく伝え、意義や R産業の各企業の間で意思疎通を密 ら向き合い取り組んでいく。 くてはならない。組織と運動の有様 に図り 「ONE て社会の理解や信頼を高めていかな ◆最後に、JR連合、 直面する課題に対し真正面 『見える化』していく。 TEAM」となっ を選択してくれる人間も増 認識すれば、自ずとJR連合 かなり充実してきた。これを 認知度は低く、誤解も根強い。 が強い北海道では、私たちの に力を入れていく。SNSに 例えばJR総連 活動の見える化

泊3日、

## 大会宣言

大会宣言

私たちは本日、「東武ホテルレバント東京」で第33回定期大会を開催し、2023年度の運動方針を満場一致で決定した。
コロナ禍の長い間を抜け出し、JR産業は未曽有の苦境から立ち直りつつあるが、国外では長引くウクライナ戦禍をはじめ情勢が不安定化し、としいでは少子高齢化、人口減少といった社会の情意的課題が深刻化つるとともに、コロナ禍により変化に拍車がかかり先行きの不透明感はかつてなく増大している。私たちは現在を国鉄改革に追求な着実に推進する。そして、側の側の視点から知恵と想いを結集してしたためた政策提言を世の中へ発信し、様々な関係主体と社会の理解を得み取り組みを着実に推進する。そして、側の側の視点から知恵と想いを結集してしたためた政策提言を世の中へ発信し、様々な関係主体と社会の理解を得み取り組みを着実に推進する。その確立については、あらゆる労使の営みの根幹であり、福知山線別車事故をはじめとする重大事象から得た教訓を決して風化自組みを深度化する。技術革新の活用や効率化等の諸施策により仕事と職場が変化する。技術革新の活用や効率化等の諸施策により仕事と職場が変化でする。技術革新の活用や効率化等の諸施策により仕事と職場が変化する。技術革新の活用や効率化等の諸施策により仕事と職場が変化する最対でしていても、指別の強化でする。その中においても「JR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を最対策を追求する。グループ会社や協力会社も含めすべての職場から安全を創り上げるべく、教訓や知恵を共有・活用する取り組みを提進する。。 イル・拡大については、「JR連合ビジョン」見える形で側の抱える課題の解決に労めが、組合員ビジョン」見える形で側の抱える課題の解決に努め、組合してきました政策の実現とをの下にないJR産業で働く者の抱えるとときるめ、北京に直接を強化している。産業政策については、コロナ禍に作う甚大なダメージからの回復と産業の持続的な成長の実現を破め出し、政治治療を関すとももに政策の下にないJR産業で働けたすべての情報交換や課題認識の共有化を図えとともに連携・協働を強化し、政治動向や社会情勢を見極めつつ、連合を変速がより組みを、会社をといては、カらゆる労働を強化し、政治の政策については、加盟単組とともに連携・協働を強化し、政治の職を関する。また、物流・建設を持っての関係者との情報を使いれては、加盟単組とともにや財労働政策に向けた取りの政策については、加盟単組とともにで財労働政策に同じた者を必ずによりを強に対れているの政策提言をとりまとめ、課題の解決に向け力強力を感じられる産業を創らなければならない、対容を持ってして意欲を持ってした。要に地対とないでいく。表にも対して意欲を持ってりとに魅力を感じられる産業を創らなければならない、JR産業に集りすべての仲間・関係者が「ONETEA

に耳を傾げ、任事と職場の実態把握を頭化し、あらゆる労働余件・環境を 改善・向上させる取り組みを推進する。 産業の大転換期の真っ只中において、不確実性の増す社会・時代を生き 抜いていくため、JR産業に集うすべての仲間・関係者が「ONE TEA M」となり、様々な課題に立ち向かっていかなければならない。本定期大 会で決定した運動方針に基づく活動をすべての加盟単組、組合員が一丸と 盗って取り組み、JR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せ実現に向け 邁進する。 以上、宣言する。

日本鉄道労働組合連合会(JR連合) 第33回定期大会

2023年6月13日

与党も含め話ができる存在 する組合員の 労組組合員の2人が地方議 できる。野党を支える一方、 他産別の知見 今ある情報を蓄積しながら、 ン等をもう少 積し、これを各 ノウハウを産別としても蓄 討する必要が を果たした。 感を持たなくて 前回統一地方選でJR西 もう少し 比較的色々な所に話が 私たちの強みは柔軟 今回2期目の当選 活用していただ 地方議員に挑戦 。この大会で 肌に進めたい。 ある。まずは、 し具体的に検 この間培った は、男女平等 なども聞きつ キャリアプラ 単組とも共有 はならない。 女性だけ 不備の げたい。 いて、 がら対応していきたい。 き続き、 バイスとして、女性役員を ん共済coopと連携しな あると聞く。 て、 になって考えていただきた 題ではない。 連合との出前対話にお **芳野会長からのアド** 交運共済、こくみ 男性も

世話役活動に努めていく。

運動に反映する

組合員の声を丁

できたことは非常に大きな スタッフ含

00人を超える組合員が2 グループ労組を含めて参加 た。北海道地協にご協力い て。ユースラリーでは、 (青女·男女平等参画担当) 青年・女性委員会につい 北海道の地に集まっ 民主化3単組、 広めていただいていること に期待。 だいた。単組に持ち帰って 男女平等参画について。 参加者に楽しんでいた

重要な一歩を踏み出したい。 できていない するなど、 もの。単組の大会でも配付 で考えながらつくり上げた 参画推進委員会のメンバー 課題であるが は、 きたい。数値目標について 女性役員の育成は喫緊の JR連合自身もまだ達成

クオフできなかった組合員 不備が発生しており、その 支部・分会役員のご尽力の 移転について。日々の取り へのフォロー体制など、引 になっている事案が数多く フリガナがないだけで不備 かかっている。実際には、 たまもの。一方で、多くの 組みに本当に感謝を申し上 てていただきたい。 残った。そうした熱意を持っ だから頼む」のではなくて、 こくみん共済coopの うメッセージを伝えてほ い、という言葉が印象に あなたが必要なんだ」と 願いするときには「女性 各組織で女性役員を育 処理に多くの時間が 90%の集約率は、 また、チェッ

**死議院議員** 

淳也

田村麻美、辻本清美、永江

小西洋之、柴慎一、竹詰仁、

大塚耕平、川合孝典、古賀之士、

福山哲郎、三上えり、 孝子、野田国義、浜野喜史、

森屋隆

**惶民主党 代表 玉木雄** 

郎

[参議院議員]

国会議員懇談会

吉良州司、近藤昭一、斎藤

アレックス、白石洋一、田嶋要、

自治労、電機連合、JAM、

ラム、労使関係研究協会

5万円、

1・8万円

UAゼンセン、自動車総連、

衆議院議員

健太

衆議院議員

博志

泉

副会長

衆議院議員

豊

(公務にてご挨拶前に退席)

連合、損保労連、国公連合、

C連合、私鉄総連、フード 情報労連、運輸労連、JE 労組、日教組、電力総連、 基幹労連、生保労連、JP

労連、サービス連合、紙パ 航空連合、ゴム連合、交通

# 第 33 回定期大会にご出席頂い

たご来賓

JR連合は6月15日、

順不同) 敬称略













地方議員団連絡会 代表幹事

## 交運労協 議長 住野 敏彦

こくみん共済coop組織推進部 部長

組織推進一課 課長 〈こくみん共済coop〉 西村 文男 喜瀬真太郎

弁護士 〈退職者連絡会〉 (顧問)

代

表

瀧

勝次

鉄道事業課長

田口

芳郎

〈国土交通省鉄道局

(ITF東京事務所)

国会議員懇談会

富夫

幹事 参議院議員

幹事 参議院議員 真治



会長 参議院議員 榛葉 賀津也

幹事 参議院議員(副議長)

長浜 博行

伊藤

## 立憲民主党・国民民主党への要請

## からは、榛葉賀津也会長をは 席した。また、「21世紀の鉄 じめ23人の国会議員が参加し 24人の国会議員がそれぞれ出 業・団体交流委員長をはじめ 郎代表をはじめ18人の国会議 た。国民民主党では玉木雄 民主党に対してそれぞれ行っ 道を考える議員フォーラム」 貝、立憲民主党では大島敦企 前に国民民主党、午後に立憲 今次要請では、時間外労働

孝恵

輸送」を中心に問題解決への 貨物鉄道は「中長距離の大量 題(物流クライシス)への ハーが不足する2024年

限規制に伴いトラックドラ がその改善に取り組むものの の点で課題を抱え、JR貨物 輸送や荷主ニーズへの対応等 すぐにはその能力を発揮でき 明。その一方、災害時の代替

献できる能力を持つことを説 ボンニュートラルの実現に貢 ドライバー不足への対応やカー 促進に繋がる政策の推進を求 会長は、貨物鉄道はトラック めることとした。 要請行動の冒頭、荻山市朗

流クライシスにおける貨物鉄 貢献ができることから、利用 

それを踏まえたうえで、荷主

要請した。さらに実現可能性 が高いこととして、比較的輸 する制度の創設など、インセ ンティブ政策の拡充・導入を 成制度拡充や環境配慮を評価

管量が増える貨物駅の拡充も 農の実例も用いて訴えた。併 送力がある昼間・休日の列車 必須であることを伝えた。 せて、そうした場合に荷物保 の利用促進誘導を、JA全

から、オールJRで労使が連 客様でもあるのが難しい点。 運業者が競争相手であり、 難しさがある。こうした事情 JR旅客会社との関係性にも

党幹事長の榛葉議員フォーラ ム会長は、「JR貨物は、 要請内容に対して国民民主

# 2023春季生活闘争グループ73単組で妥結 69単組でベーすべてのJR単組で夏季手当を妥結 6単組で昨年上回る 単組でベア獲得

東海整備労組(5月15日)

者(4泊5日以上)に1

日あたり500円

従業員食堂のない営業所

0円 (200円増額) 勤務者に食堂手当640

(5月24日)

永年勤続表彰(30年)の

・夏季手当

〈社員〉2ヵ月

6月22日時点報告分まで

定期昇給 実施(320

JR西日本ーTソリューショ

・夏季手当

〈社員・嘱託

・ベア 3000円

ジェイアール東海物流労組

社員〉1・9ヵ月+成績給

ンズ労組

(4月28日)

引き出し妥結した。なかでも、60単組でベアを獲得し、 グループ労組では、6月22日時点で、73単組で回答を JR西日本レンタカー& 大きな成果を引き出した。 単組で妥結した。(要求妥結状況と昨年比は右下表) JR四国労組の妥結をもって、JR7単組すべてのJR また、2023春季生活闘争を粘り強く続けている 2023夏季手当について、6月21日のJR北労組・ ・初任給の引き上げ

労供労連、全印刷、自治労 印刷労連、全水道、全国農 連合、全電線、全国ガス、 団労、メディア労連、全労 全国ユニオン、JA連 港運同盟、全造幣、鉄 森林労連、労済労連、 ジェイアール西日本伊勢 丹労組 リース労組 (3月13日) ・ベア 1000円 ・夏季一時金 〈社員)1・ · 定期昇給 実施 2 ヵ 月 (4月20日) ・ネクストキャリア制度の 自己申告型降格制度の導

国土交通大臣

斉藤

鉄夫

野田佳彦、野間健、古川元久、

**前原誠司、松原仁、馬淵澄美、** 

堤かなめ、二末博文、

、西岡秀子、

[官公庁]

寄せられた祝電・メッセージ(順不同)。敬称略

**滋賀県知事** 政党

三日月大造

森山浩行、山井和則、柚木

道義、湯原俊二、渡辺創

自治体

構労、全港湾、鉄道関連労 合生産性会議、政策研究フォー 連合会、中央労働金庫、日 こくみん共済coop、全 国労働金庫協会、労働金庫 ・フェロー社員一時金 · 年間臨給 ・定期昇給 5万円、1・8万円 5ヵ月 一時金 0・6ヵ月、 1ヵ月~2・ 1 ・定期昇給

・ベア 〈社員〉2000円 レールテック労組 ・夏季一時金 2・6ヵ月 関西工機整備労組 ベア 2500円 ベア 3000円 (4月24日) (4月28日)

·生活応援金 夏季一時金 〈社員〉 6ヵ月+5万円 2 · 定期昇給 実施 ・ベア 〈社員〉3000円 JR九州サービスサポート ・夏季手当 2・75ヵ月 (5月12日)

> ・定期昇給 ・ベア 5000円

実施(標準乗

・ベア 1000円

定期昇給

(5月22日)

給·職能給〉7500円

・ベア 700円

(6月1日)

1万2500円増額

円~1万円増額、〈職務

50 円

4500円、〈派遣〉時給

5500円~7500円、

(5月29日)

〈専任・嘱託・シニア〉

数 4 )

中国ロジスティクス労組 · 定期昇給 実施 ・ベア 2000円 新幹線エンジニアリング労組 ・ベア 1000円 ·一時金 2万円 · 定期昇給 実施 (標準乗 NESCO労組(5月2日) ・夏季一時金 2・4ヵ月 · 夏季賞与 2・05ヵ月 · 定期昇給 実施 定期昇給 実施 (5月9日) (4月28日) キング労組 · 定期昇給 実施 開発労組 ・定期昇給 数3 (5月18日)

セントラルメンテナンス労組 JR九州レンタカー&パー ジェイアール西日本ホテル · 定期昇給 ・夏季賞与 1・5ヵ月 ・ベア 1000円 ・夏季手当 2・5ヵ月 ベア 1000円~11 夏季手当 2・05ヵ月 実施(標準乗 (5月19日) (5月18日) (5月19日) ホテルグランヴィア岡山労組 新生テクノス労組 四国KIOSK労組 夏季一時金 夏季手当 2ヵ月 員〉3000円、〈準社 託社員〉1・5ヵ月 定期昇給 実施 員〉時給15円引き上げ 約社員〉1・05ヵ月 実施 (5月22日) (5月22日) 〈社員・

・夏季手当 東京ステーション開発労組 ポイント) 45歳以上の賃貸住宅補給 夏季手当 2・9ヵ月 3 万円 定期昇給 ベア 3000円 (35歳 〈社員・エリア社 2・75ヵ月+ 実施(乗数4 (5月19日) 契 ジェイアール東海情報シス ジェイアール東 ホテルグランヴィア大阪労組 ・定期昇給 ・ベア 20 ・夏季手当 東海交通事業 · 定期昇給 テム労組 ・夏季賞与 賃金改善 時短勤務の 夏季賞与 数 4 ベア 平均 初任給の改 定期昇給 夏季一時金 ベア 10 末日まで) が7歳に達する年の5月 - 33歳に対 実施 Ŏ O 円 して1000 海ホテルズ労組 1・5ヵ月 (5月23日) 適用拡大(子 1・7ヵ月 実施(標準乗 2・8ヵ月 実施 (5月23日) 2 0 0 0 円 (5月23日) 〈年齢給〉18 (5月24日) 2・7ヵ月 ジェイアール東海コンサル 九州ロジスティクス労組 東海交通機械労組 ・夏季賞与 2・9ヵ月 · 定期昇給 実施 ・ベア〈正社員年齢別〉 タンツ労組 · 定期昇給 実施(標準乗 ・ベア 3000円 ・ホテル間の長期助勤勤務 ・夏季賞与 1ヵ月+5万円 ·夏季手当 2·75ヵ月

数 <u>4</u>)

日本全体で物流を考えていく 立憲民主党の大島委員長は、 その体制作りにも各議員の支 携する取り組みが求められ、 ナの改良にGX移行債が使え 必要がある」と述べ、「コンテ ないか」という提案も行った。 援をお願いしたい」と述べた。 「国交省の範疇だけでは狭く 2023年夏季手当要求及び妥結状況 2022年 単組名 要求日 妥結内容 妥結内容 5月23E 2.5ヵ月 1.6ヶ月 7月4日支払 2.5ヶ月+5万円 6月27日支払 2.3ヶ月 JREユニオン 5月18日 2.8ヶ月 6月7日 2.7ヶ月 2月9日 2.7ヶ月 3月17日 2.2ヶ月 JR東海ユニオン 6月30日支払 年4.2ヶ月 6月30日支払 年5.0ヶ月 (夏・年末ともに2.5 1.34ヶ月 JR西労組 3月15日 2月6日 +5万円 1.59ヶ月 7月7日支払 JR四国労組 5月16日 2.0ヶ月 6月21日 1.35ヶ月 2.15ヶ月 2月8日 2.8ヶ月 3月17日 JR九州労組 1.64ヶ月 6月30日支払 1.62ヶ月 7月7日支払 年4.5ヶ月以上 (夏2.1ヶ月以上) 貨物鉄産労 2月9日 6月17日 1.72ヶ月